

# IX 附 表



# 柏 消 防 の あ ゆ み

西 暦	年 月	組 織・消 防 庁 舎・車 両 配 置 等	定 員
1954	昭和29年 9月	《東葛市が誕生》	
	11月	《柏市に名称変更》	
	12月	《柏市消防団結成》 4支団, 30ヶ分団	(柏団)1,122名
1955	昭和30年 3月	《沼南村が誕生》	
	12月	《沼南村消防団結成》 17分団 ■ 柏大火(25日)商店街46棟, 33世帯焼失	(沼団)400名
1956	昭和31年10月	◆少数精鋭主義を打ち出し, 柏市消防団縮小 13分団	(柏団)767名
1957	昭和32年 9月	◇野田市と消防相互応援協定を締結	
1958	昭和33年 2月	《柏市消防本部開設(市役所内)》 ◎日立製作所亀有工場から消防ポンプ自動車1台を受贈(柏) 消防ポンプ自動車を導入	(柏職)18名
	5月	◇松戸市と消防相互応援協定を締結	
	7月	◇柏市消防本部, 消防署(中央2丁目)を移転新設	
	昭和34年 4月	◆専任消防長を配置, 消防職員12名増員	(柏職)30名
	8月	◇救急自動車1台購入し, 救急業務を開始	
1960	昭和35年 4月	◆柏市消防職員1名増員	(柏職)31名
	昭和36年 4月	◆柏市消防職員10名増員	(柏職)41名
1962	昭和37年 1月	◇第1出張所(旭町)を新設	
	2月	◇流山市と消防相互応援協定を締結	
	3月	◇柏市消防本部庁舎を新築	
	4月	◆柏市消防職員6名増員	(柏職)47名
	9月	◆柏市消防団縮小	(柏団)485名
1963	昭和38年 4月	◇指揮車を導入	
1964	昭和39年 2月	《沼南町制施行》	
	4月	◆柏市消防職員4名増員 ●沼南町消防団縮小	(柏職)51名 (沼団)315名
	7月	◇我孫子市と消防相互応援協定を締結	
1965	昭和40年 4月	◆柏市消防職員9名増員	(柏職)60名
	7月	○沼南町婦人火災予防組合連合会設置	
	11月	◇屈折はしご付消防ポンプ自動車を導入 ◎(社)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台を受贈(柏)	
1966	昭和41年 4月	◆柏市消防職員18名増員	(柏職)78名
	12月	◇第2出張所(増尾)を新設	
1967	昭和42年 4月	◆柏市消防職員10名増員 ◆柏市消防団縮小	(柏職)88名 (柏団)455名
	12月	◇第3出張所(根戸)を新設	
	昭和43年 4月	◆柏市消防職員10名増員	(柏職)98名
1968	12月	◇化学消防車を導入	

◆…柏市職員関係 ◇…柏市組織機構関係ほか ●…沼南町職員関係 ○…沼南町組織機構関係ほか ◎…受贈関係

1969	昭和44年 7月	◇柏市消防本部機構を総務課, 予防課, 警防課の3課制に改革	
1971	昭和46年 3月	◇第4出張所(大室)を新設	
	4月	◆柏市消防職員20名増員	(柏職)118名
	11月	◎柏青年会議所から救急自動車1台を受贈(柏)	
1972	昭和47年 4月	◆柏市消防職員20名増員	(柏職)138名
	10月	◇特別救助隊編成	
1973	昭和48年 3月	◇救助工作車を導入	
	4月	◆柏市消防職員22名増員	(柏職)160名
	5月	◇出張所名称変更 第1出張所→旭町分署, 第2出張所→増尾分署 第3出張所→根戸分署, 第4出張所→大室分署	
	6月	◇旭町出張所移転建設	
	11月	◇40m級はしご付消防ポンプ自動車を導入	
1974	昭和49年 4月	◆柏市消防職員18名増員	(柏職)178名
	8月	◎(財)日本船舶振興会から救急自動車を受贈(沼南)	
	10月	○沼南町役場救急隊発足(12名)	(沼職)12名
	11月	◎遼東化学工業(株)から広報車1台を受贈(柏)	
1975	昭和50年 2月	◎(社)千葉県消防設備保守協会から広報車1台を受贈(柏)	
	3月	○水槽付消防ポンプ自動車を導入(沼南町役場隊)	
	5月	○沼南町, 消防業務を開始 ●沼南町消防職員2名増員	(沼職)14名
	10月	◎(有)鮪芳から救急自動車1台を受贈(柏)	
	12月	◇増尾出張所を改築	
1976	昭和51年 4月	◎(社)日本損害保険協会から救急自動車1台を受贈(柏)	
	9月	◇消防艇を導入	
	10月	◎(社)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台を受贈(柏)	
1977	昭和52年 4月	◆柏市消防職員7名増員	(柏職)185名
1978	昭和53年 3月	◇起震車を導入	
	4月	◆柏市消防職員15名増員 ◇柏市消防音楽隊発足	(柏職)200名
1979	昭和54年 1月	◎千葉県共済農業協同組合から救急自動車1台を受贈	
	4月	◆柏市消防職員50名増員 ●沼南町消防職員12名増員	(柏職)250名 (沼職)26名
	8月	◎柏市自動車協同組合から広報車1台を受贈	
	9月	◇柏市消防本部・消防署庁舎を移転建設 ◇柏市消防本部機構を1本部2署(西部消防署・東部消防署)4分署体制 に改革, 消防本部に指令室を設置	
	10月	◎(株)岩立産業から広報車2台を受贈(柏)	
	12月	◇水槽車(10,000ℓ)を導入	
1980	昭和55年 2月	◇高発泡車を導入	
	4月	◇柏市消防職員20名増員	(柏職)270名

1980	昭和55年4月	<p>《 沼南町消防本部開設 》</p> <p>○沼南町消防本部, 消防署を移転建設</p> <p>24m級はしご付き消防ポンプ自動車を導入</p>	(沼職)43名
	7月	●沼南町消防職員9名増員	(沼職)52名
	12月	○鎌ヶ谷市と消防相互応援協定を締結	
		◇大室分署を改築	
		●沼南町消防職員13名増員	(沼職)65名
1981	昭和56年 2月	◎(社)日本損害保険協会から救急自動車1台を受贈(柏)	
		◆柏市消防職員6名増員	(柏職)276名
	4月	◇茨城県高速道路等における消防相互応援協定を締結	
	9月	○特別救助隊を編成	
		◎(財)日本消防協会から軽可般ポンプを受贈(沼南)	
	11月	○化学消防車及び指揮車の導入	
1982	昭和57年 3月	○鎌ヶ谷市と消防相互応援協定を締結	
	昭和57年 4月	◆柏市消防職員2名増員	(柏職)278名
	8月	◇火災原因調査車, 資材運搬車を導入	
		◎(財)日本消防協会から軽可般ポンプを受贈(沼南)	
	10月	◇水槽車(5,000ℓ)を導入	
	12月	◎杉浦クニエ氏から防火指導車1台を受贈(柏)	
1984	昭和59年 4月	◆柏市消防職員11名増員	(柏職)289名
		◆柏市消防団縮小	(柏団)436名
	9月	◇光ヶ丘分署を新設	
	11月	◇救援車を導入	
1986	昭和61年 1月	◇東部消防署を改築	
	4月	○高柳分署(消防救助技術訓練塔併設)を新設	
	6月	◎沼南ライオンズクラブから査察車1台を受贈(沼南)	
	9月	◎柏稔商事(株)から救急自動車1台を受贈(柏)	
1987	昭和62年 4月	◆柏市消防職員6名増員	(柏職)295名
1989	平成元年 2月	◇旭町分署移転建設	
	4月	◆柏市消防職員8名増員	(柏職)303名
	6月	●沼南町消防職員3名増員	(沼職)68名
	9月	◎柏稔商事(株)から大型救急自動車1台を受贈(柏)	
	10月	◇根戸分署を改築	
1990	平成2年 3月	◎杉浦クニエ氏から司令車1台を受贈(柏)	
	4月	◆柏市消防職員21名増員	(柏職)324名
	9月	◎柏稔商事(株)から救急自動車1台を受贈(柏)	
	12月	◇西原分署を新設	
1991	平成3年 4月	◆柏市消防職員2名増員	(柏職)326名
		◇旭町分署を旭町消防署に改め, 西原分署を管轄下に帰属	
	8月	◎遼東化学工業(株)から事務連絡車1台を受贈(柏)	
	12月	○救助器具積載型ポンプ車を導入	

◆・・・柏市職員関係 ◇・・・柏市組織機構関係ほか ●・・・沼南町職員関係 ○・・・沼南町組織機構関係ほか ◎・・・受贈関係

1992	平成4年 4月	◆柏市消防職員2名増員 ◎(財)千葉県消防設備協会より連絡車を受贈(沼南) ◇千葉県消防広域相互応援協定を締結	(柏職)328名
	10月	●沼南町消防職員10名増員	(沼職)78名
1993	平成5年 3月	◇空気充填車を導入	
	4月	◆柏市消防職員18名増員 ◇柏市消防本部に救急救助課を設置	(柏職)346名
	6月	◎遼東化学工業(株)から事務連絡車1台を受贈(柏)	
	11月	◇救急救命士による救急活動を開始	
1994	平成6年 2月	◇高規格救急車を導入	
	3月	◇消防訓練場整備	
	4月	◆柏市消防職員11名増員	(柏職)357名
1995	平成7年 1月	■阪神・淡路大震災の発生に際し、救助工作車、指揮車、救助隊員 11名を人命救助のため神戸市東灘区へ派遣(柏)	
	2月	◇取手市と消防相互応援協定を締結	
	3月	◇震災対策資機材(ファイバースコープ)を導入	
	4月	◇増尾分署を移転建設し、逆井分署に名称変更	
	7月	●沼南町消防団縮小	(沼団)313名
	8月	◇緊急消防援助隊に消火部隊1隊、救助部隊1隊、救急部隊1隊を登録	
	9月	◇人員輸送車を導入	
	10月	◇特殊災害対策資機材(緊急除染シャワー)、エアテントを導入	
1996	平成8年 8月	◇柏市消防団拠点施設27箇所に救助用資機材(油圧ジャッキ、エンジン カッター、チェーンソー)を配置	
	12月	◇支援車を導入	
1997	平成9年 1月	◇緊急消防援助隊用資機材(エアテント、ベッド、寝袋等)を配置	
	4月	◆柏市消防職員4名増員 ◇柏市消防指令センターを新設し、消防緊急通信指令システムを更新 消防本部に指令課を設置	(柏職)361名
	9月	◇ふれあいワーカー制度を導入(災害時要援護者に対する女性職員の 個別訪問)	
1998	平成10年 9月	◎(財)日本消防協会から軽可搬ポンプ積載車1台を受贈(柏)	
	10月	◇空気呼吸器用面体を個人貸与 ◎(社)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台を受贈(沼南)	
1999	平成11年 4月	◇女性職員を当直勤務者として、指令課へ配置	
	8月	◎遼東化学工業(株)から広報車1台を受贈(柏)	
	9月	◇ペア出場制度を導入(救急活動時における救急・消防隊の連携活動)	
	12月	◇葦群生地等における火災対策機器「あしがるくん」を開発	
2000	平成12年 3月	◎(財)日本消防協会から消防団用司令車1台を受贈(柏)	
	8月	○沼南消防署の耐震補強工事実施	
	10月	◇国際消防救助隊に8名登録	
2001	平成13年 6月	◇大堀川防災レクリエーション公園に照明設備(照明5基20灯)を設置	

2002	平成14年 3月	◇大堀川防災レクリエーション公園にダスト舗装を整備	
2002	平成14年 5月	◎(株)タケトシから救助艇牽引車1台を受贈(柏)	
2004	平成16年 3月	◇消防緊急通信指令システムの主要機器を一部更新	
	4月	◇勤務体制を2部制から3部制へ移行	
		◇緊急消防援助隊にはしご隊を登録	
	10月	■新潟県中越地震の発生に際し、救助工作車1台、救急自動車1台、消防ポンプ自動車1台、支援車1台、資材運搬車1台を派遣(柏)	
	12月	◇気管挿管認定救命士による救急活動を開始	
2005	平成17年 3月	《 柏市・沼南町が合併 》	
		◇消防本部、消防署機構を1本部4署6分署に、消防団機構を1本部5方面42分団の体制に改革	(職)433名 (団)617名
	11月	◇救急救命ネットワーク事業を開始(市内公共施設等のAEDを設置) ◎医療法人社団蛍水会名戸ヶ谷病院から自動体外式除細動器(AED)12台を受贈	
	12月	◇赤救隊制度を導入(消火隊による救急活動補完・支援活動)	
2006	平成18年 1月	◎医療法人社団オーケーエム会オーククリニックフォーミズから自動体外式除細動器(AED)9台を受贈	
	6月	◇薬剤投与認定救命士による救急活動を開始	
	8月	◇女性救急救命士が誕生	
		◎遼東化学工業株から自衛消防隊訓練資機材一式を受贈	
	12月	◇消防本部庁舎の耐震補強工事実施	
2007	平成19年 4月	◇消防本部に企画組織整備室を設置	
2008	平成20年 4月	《 中核市に移行 》	
		《 柏市消防局に名称変更 》	
		◇消防局機構を総務課、企画統制課、予防課、査察調査室、警防課、安全管理室、指令センター、救急課の5課2室1センター制に改革	
		◇消防特殊機動部隊の発足	
	10月	◇柏市・我孫子市消防通信指令事務協議会を設立	
	12月	◇消防局ホームページを開設	
		◎東京純薬工業株から火災原因調査資器材一式他を受贈	
2009	平成21年 2月	◎遼東化学工業株から音響装置一式を受贈	
	5月	◎柏なの花ライオンズクラブからAEDトレーナー2セットを受贈	
	7月	◇柏市消防訓練センターを開設	
		◇根戸分署を移転建設し、富勢分署に名称変更	
	12月	◇柏市消防訓練センター内に、がれき訓練施設を整備	
		◇救助工作車Ⅲ型、高度救命用資機材を導入	
2010	平成22年 2月	◇高度救助隊の発足	
	3月	◇高機能消防指令情報システムを導入	
		◇東葛消防指令センター(柏市・我孫子市消防通信指令事務協議会)運用開始	
2011	平成23年 2月	◎柏なの花ライオンズクラブからAEDトレーナー2セットを受贈	
	3月	■東日本大震災の発生に際し、救助工作車1台、救急自動車1台、消防ポンプ自動車1台、支援車1台、資材運搬車1台を派遣	
	4月	◇指令センターを情報指令課に変更	

◆・・・柏市職員関係 ◇・・・柏市組織機構関係ほか ●・・・沼南町職員関係 ○・・・沼南町組織機構関係ほか ◎・・・受贈関係

2012	平成24年 3月	◇手賀分署を新設	(職)448名
	4月	◇手賀分署を沼南消防署の管轄下に帰属 ◇消防局機構を総務課, 企画統制課, 火災予防課, 警防課, 安全管理室, 情報指令課, 救急課の6課1室制に改革 ◆柏市消防職員15名増員	
	10月	◇燃料補給車の配備(総務省消防庁による配備)	
2013	平成25年 2月	◎柏なの花ライオンズクラブからAEDトレーナー2セットを受贈	(団)631名
	3月	◇消防救急デジタル無線の運用開始	
	4月	◎㈱ナカミツBMWから消防業務用車両を受贈	
	11月	◎柏オークライオンズクラブから災害用自転車42台を受贈	
2014	平成26年 1月	◎一般社団法人日本損害保険協会から軽消防自動車を受贈	
	4月	◇女性消防団員(14名)誕生	(職)450名
	11月	◇大室分署を移転建設し, たなか分署に名称変更 ◎有限会社オートワークスクボタからミニ消防車を受贈	
2015	平成27年 4月	◇消防局機構を総務課, 企画統制課, 火災予防課, 警防課, 救急課 第1方面本部, 第2方面本部の5課2本部制に改革	
	10月	◇第22回全国女性消防操法大会出場	(職)456名
	12月	◎森脇祐三氏からレサシアンシミュレータSimPadを受贈	
2016	平成28年 1月	◎柏なの花ライオンズクラブからCPRトレーニングボックス(あっぱくん)を受贈	
2017	平成29年 1月	◎柏なの花ライオンズクラブからCPRトレーニングボックス(あっぱくん)を受贈	(職)456名
	4月	◇消防局機構を企画総務課, 消防職員課, 消防団課, 火災予防課, 警防課 救急課, 指揮調査課の7課制に改革 ◇東部消防署において, 救急車2隊運用を開始	
	9月	◇第23回全国女性消防操法大会出場	
	12月	◎柏なの花ライオンズクラブからCPRトレーニングボックス(あっぱくん)を受贈	
2018	平成30年 3月	◇にじいろ救命女子発足	
	4月	◆柏市消防職員2名増員	(職)456名
2019	平成31年 2月	◎柏なの花ライオンズクラブからCPRトレーニングボックス(あっぱくん)を受贈 ◎東京純薬工業(株)から消防業務用車両を受贈 ◎柏オークライオンズクラブからポータブルガス発電機を受贈	
	4月	◇勤務体制を3部制から2部制へ移行 ◇消防署に消防管理室を設置 ◇指揮調査課を指揮統制課に名称変更	
2020	令和2年 4月	◎柏なの花ライオンズクラブからCPRトレーニングボックス(あっぱくん)を受贈	(職)456名
	12月	◎株式会社太田商事からマイクロバスを受贈	
2021	令和3年 2月	◇ちば北西部消防指令センター(松戸市ほか9市消防指令事務協議会)運用開始	(職)456名
	令和3年 4月	◇旭町消防署に「日勤救急隊」を配置 ◎第一生命保険株式会社柏支社からAEDを受贈 ◎柏なの花ライオンズクラブから訓練用AED及び訓練用人形を受贈	
2022	令和4年 5月	◎株式会社太田商事から油圧ショベル2台を受贈	
	10月	◎東京純薬工業(株)からレサシアンシミュレータSimPadを受贈	(職)456名
2023	令和5年 4月	◆柏市消防職員6名増員	

2023	令和5年10月	◎東京純薬工業(株)から三連はしご, ファイバースコープ, 訓練ダミー人形を受贈	(職)471名
	12月	◎柏オークライオンズクラブから放送設備一式, 大型簡易テント, モバイルバッテリーを受贈	
2024	令和6年 4月	◆柏市消防職員15名増員	
		◇「日勤救急隊」を増隊し, 西部消防署に配置	

◆・・・柏市職員関係 ◇・・・柏市組織機構関係ほか ●・・・沼南町職員関係 ○・・・沼南町組織機構関係ほか ◎・・・受贈関係



## 歴代消防長

	氏 名	就任年月日	退任年月日
初 代	鈴 木 眞	昭和34年 4 月 1 日	昭和37年 5 月 5 日
2 代	斎 藤 吉 永	昭和37年 5 月 6 日	昭和40年 3 月 31 日
3 代	加 藤 順 一	昭和40年 4 月 1 日	昭和46年 3 月 31 日
4 代	鈴 木 眞	昭和46年 4 月 1 日	昭和47年 3 月 31 日
5 代	宮 本 富之助	昭和47年 4 月 1 日	昭和51年 3 月 31 日
6 代	中 村 良 夫	昭和51年 4 月 1 日	昭和52年 3 月 31 日
7 代	鈴 木 眞	昭和52年 4 月 1 日	昭和53年 7 月 10 日
8 代	市 村 友 衛	昭和53年 7 月 11 日	昭和55年 4 月 30 日
9 代	長 山 巍	昭和55年 5 月 1 日	昭和56年 3 月 31 日
10 代	松 本 太 郎	昭和56年 4 月 1 日	昭和58年 5 月 31 日
11 代	藍 原 住 光	昭和58年 6 月 1 日	昭和62年 3 月 31 日
12 代	大 越 忠 郎	昭和62年 4 月 1 日	平成 3 年 3 月 31 日
13 代	星 野 栄	平成 3 年 4 月 1 日	平成 6 年 3 月 31 日
14 代	遠 藤 英 男	平成 6 年 4 月 1 日	平成 9 年 3 月 31 日
15 代	宇佐見 武	平成 9 年 4 月 1 日	平成11年 3 月 31 日
16 代	石 塚 茂 一	平成11年 4 月 1 日	平成14年 3 月 31 日
17 代	宇佐見 義 雄	平成14年 4 月 1 日	平成15年 3 月 31 日
18 代	小 林 進	平成15年 4 月 1 日	平成17年 3 月 31 日
19 代	鈴 木 豊	平成17年 4 月 1 日	平成19年 3 月 31 日
20 代	長 妻 力	平成19年 4 月 1 日	平成22年 3 月 31 日
21 代	長谷川 芳 夫	平成22年 4 月 1 日	平成24年 3 月 31 日
22 代	羽 石 清 二	平成24年 4 月 1 日	平成27年 3 月 31 日
23 代	佐 山 泰 一	平成27年 4 月 1 日	平成28年 3 月 31 日
24 代	木 村 誠 寿	平成28年 4 月 1 日	平成29年 3 月 31 日
25 代	村 井 浩	平成29年 4 月 1 日	令和 2 年 3 月 31 日
26 代	椎 名 正 浩	令和 2 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日
27 代	相 田 幹 夫	令和 4 年 4 月 1 日	令和 5 年 3 月 31 日
28 代	本 田 鉄 二	令和 5 年 4 月 1 日	

## 歴代消防団長

	氏 名	就任年月日	退任年月日
初 代	山 田 正左衛門	昭和29年12月22日	昭和30年6月27日
2 代	田 中 朝 吉	昭和30年6月28日	昭和30年12月31日
3 代	小 川 喜 助	昭和31年 1 月23日	昭和31年12月31日
4 代	日 暮 正 平	昭和32年2月22日	昭和34年 1 月25日
5 代	山 澤 諒太郎	昭和34年1月29日	昭和35年4月14日
6 代	鈴 木 眞	昭和35年4月15日	昭和36年4月14日
7 代	野 口 巳一郎	昭和36年4月15日	昭和38年4月14日
8 代	鈴 木 保 一	昭和38年4月15日	昭和40年11月 2 日
9 代	原 秀 夫	昭和40年12月 1 日	昭和52年7月30日
10 代	鈴 木 徳 司	昭和52年9月1日	昭和55年3月31日
11 代	八 木 重 男	昭和55年4月1日	昭和61年3月31日
12 代	張ヶ谷 稔	昭和61年4月1日	平成4年3月31日
13 代	中 嶋 晃	平成4年4月1日	平成12年3月31日
14 代	鈴 木 良 紀	平成12年4月1日	平成16年3月31日
15 代	染 谷 茂	平成16年4月1日	平成18年3月31日
16 代	廣 瀬 繁	平成18年4月1日	平成20年3月31日
17 代	早 川 一 成	平成20年4月1日	平成22年3月31日
18 代	小田山 博 史	平成22年4月1日	令和2年3月31日
19 代	鈴 木 哲	令和2年4月1日	